

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

「外傷患者に対する早期リハビリテーションプログラムの最適化に向けた研究」に関する研究

1. 研究の対象

2021年7月1日から2023年11月30日までに東海大学医学部付属病院高度救命救急センターに入室し、リハビリテーションを受けた外傷患者

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2026年12月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的 この研究は、外傷のために入院した患者さんにとってより効果的なリハビリテーションプログラムを構築・実施するために、外傷によって高度救命救急センターに入室した患者さんに対して、入院後48時間以内に開始する早期リハビリテーションの効果と自宅退院の可否に関連する要因の検討を行います。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：年齢、性別、診断名、身長、体重、Body mass index、既往・併存疾患、入院前フレイルの状況、入院前・入院時・退院時の日常生活動作能力、受傷日、受傷機転、外傷分類、受傷後初回のCT画像から評価した脊柱起立筋面積・指数および大腰筋面積・指数、外傷の重症度、病態の重症度、転帰、人工呼吸器装着日数、手術の有無、治療内容、薬剤情報、血液検査結果、画像診断結果、せん妄発症の有無、意識レベル、バイタルサイン、合併症、入院からリハ開始までの日数、リハ実施日数、リハ実施回数、リハ内容、リハ診療報酬の保険点数、リハ開始時および集中治療室退室時の四肢筋力・身体活動度・日常生活動作能力、集中治療室在室日数、入院日数

・試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受ける時点では、他の研究機関に情報を提供する可能性はありません。今後、本研究で収集した情報を研究組織以外の第三者に提供する場合には、情報の提供について改めて臨床研究審査委員会の承認を受けて実施します。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：6463）

研究責任者 診療技術部リハビリテーション技術科 市川 毅

問い合わせ担当者 診療技術部リハビリテーション技術科 野田 健登